



# Air Traffic Control



Vol. 9

「Air Traffic Control」第9弾です。

・「ここがすごい！航空基地紹介シリーズ」

ちょっぴり変わった航空基地を紹介！

## 厚木航空基地

・ 特集では、海自航空管制官の

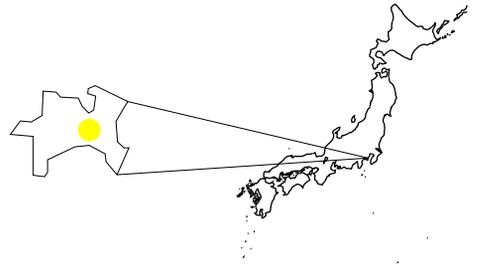
欠かせない唯一無二な仕事「**洋上管制**」

を紹介します！

米海軍駐留の航空基地  
数多の航空隊が所属する

# 厚木航空基地

～神奈川県～



神奈川県県央部にある厚木航空基地。

戦前に海軍飛行隊の基地として設立され、戦後には、マッカーサー連合軍司令官が降り立ったことで有名です。

厚木航空基地は、海上自衛隊と米海軍が共同で使用している基地であるため、日常から英語での調整が必要となっており、自然と英語が上達する隊員がたくさんいます！

基地イベントでは日米親善行事もあるので、日頃の業務を活かし英語による受付なども行います。

プライベート面では、東京方面や横浜へは電車1本！近くには大山、鎌倉、湘南や相模湾もあるため、休日は思いっきりリフレッシュしています！

桜の季節には、米海軍と合同で基地開放イベント「春祭り」を開催しました！



管制塔が新設されました！👏👏



旧管制塔



新管制塔



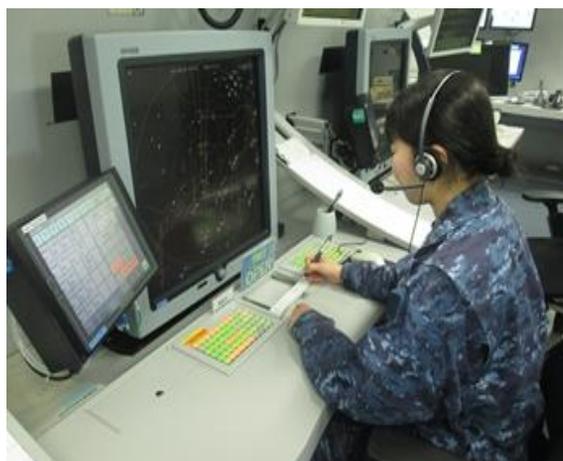
## 隊員の声

### 岸 3 曹 厚木

4月に飛行場管制の技能試験に合格し、免許取得者として業務に携わることができるようになりました。免許取得後は指導官がいないため、まだまだ不安と緊張の日々です。

一方で管制官の一員として管制できることに喜びを覚えながら頑張っています！

現在はGCA訓練生としてまた試験勉強に追われる日々ですが、次もやってやろう！という前向きな気持ちで奮闘中です。



👉航空管制の免許取得

海上自衛隊では、一般的に次の順番で免許を取得しています。

「①飛行場管制」→「②着陸誘導管制（GCA）」→「③進入管制、ターミナルレーダー管制」

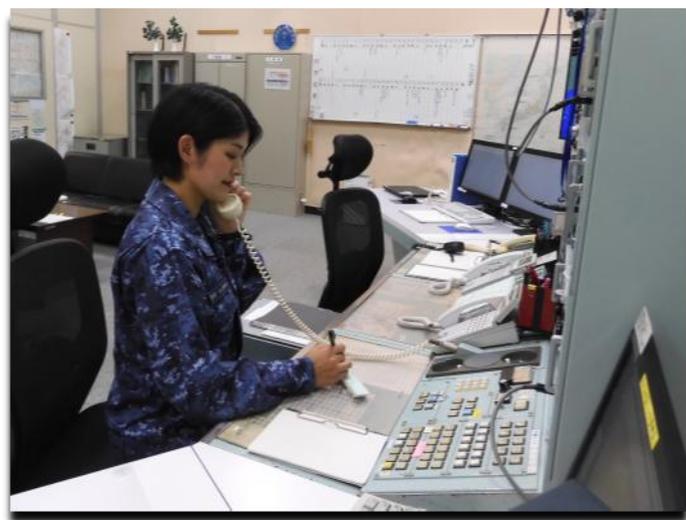


# 海上自衛隊の航空管制

## 洋上管制

今回紹介するのは、  
洋上管制です。

洋上管制隊は、はるか洋上を飛行する自衛隊機からの位置通報の中継や航空機に対し気象情報、安全運航に必要な情報を提供する飛行支援管制業務を行っています。



ちなみに、管制塔のような場所で業務をしていると思われがちですが、実は地下で仕事をしています。

そして、この洋上管制を実施しているのは自衛隊の中でも厚木航空基地だけなんです！

また、HF帯という特殊な周波数を使っています。

管制塔→UHF帯、VHF帯  
洋上管制→HF帯



### HF帯

電離層と地表を反射して電波が進むため、UHF帯及びVHF帯では届かない洋上を飛行する航空機との交信が可能です。



その他、写真のような艦艇に離発着する航空機の運航支援もしています。

なお、扱う航空機は海自航空機だけでなく陸自機、空自機、米軍機もあります。



↑ 春祭りにて展示 

同じ管制官でも管制塔、洋上管制所、艦艇とそれぞれの場所で多くの役割を担っています。

